

ジュエリー文化史研究会からのお知らせー178ー

2015.10.21

◎第2期(大正以降)、日本の装身具ハンドリングゼミのお知らせ

ー露木 宏

今回のJC誌の冒頭にも書いておきましたが、これまでテキストとして使ってきたJC誌の連載は12月発刊の次号70号(連載18)の明治後期ーその(2)をもって終了します。

(この連載18のハンドリングは来年最初のゼミで行います)

これを区切りとして大正時代以降を第2期日本の装身具ハンドリングゼミとして行います。

その概要は次のとおりです。

第2期ゼミはこれまで以上にモノ中心のゼミになります。毎回30点前後のハンドリングで、必要な資料はその都度用意します。

『日本装身具史』と『ジュエリーの歩み100年』をサブテキストに使います。

大正・昭和初期ー(全8回)

帯留ー2回

指輪ー2回

洋風髪飾りー1回

和装の髪飾りー1回

男性用装身具ー1回

男女の携帯品などー1回

※1回のびる場合あり

戦時体制期・戦後ー(全4回)

帯留・指輪などー1回

髪飾り・男性用装身具などー1回

戦後の外国人用装身具などー1回

戦後の指輪などー1回

※1回のびる場合あり

以上がその予定です(多少変更の場合もあり)。

ゼミの進め方、参加費、参加条件等はこれまでと変わりません。

(これまでの方は継続参加となりますので再申し込み手続きなどは必要ありません)。

なお、

○これまで、感想文等をほとんど送られていない方へ・・・

感想等を「2～3回程度に1回は送れる方」というのがゼミの参加条件になっています。

(担当幹事以外、例外はありません)

参加を希望する方はこのことを守ることをお約束ください。

今後も送る予定のない場合には第2期ゼミの参加はご遠慮願います。

○何らかの事情により第2期ゼミに参加できない方は、事務局深谷までご一報ください。

(年会費を納めれば休会できます)

以上、お知らせいたします。

よろしく願います。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com